

質 問 通 告 一 覧

第9回島田市女性議会
令和4年7月30日

島 田 市

◎ 発言順位

	(頁)
1 番 岩崎 好美 さん (一問一答) -----	1
2 番 秋山 有美 さん (一問一答) -----	2
3 番 横山 美沙 さん (一問一答) -----	3
4 番 藤森ちひろ さん (一問一答) -----	4
5 番 柴本 楓葵 さん (一問一答) -----	5

1. 1番 岩崎 好美 さん (一問一答)

島田市が「将来住み続けたいまち・選ばれるまち」になるために

島田市には、素晴らしい資源・魅力がたくさんある。観光名所として有名な蓬莱橋、牧之原大茶園やSL、地域を代表する歴史ある野球場である島田球場、学校跡地を利活用したグランピング施設、地場産品や産業など、幅広くあるが、それらを本当に活用できているのか。

島田市の10年先を考えた際に、「将来住み続けたいまち・選ばれるまち」であるためには、それらを戦略的に活用していく必要があると考える。そのため、具体的な取り組み状況や方向性を以下伺う。

1. 島田球場の活用について

- (1) 島田球場の利用状況と年間の運営収支について伺う。
- (2) 施設の整備について現時点でどのような課題があるか。

2. 学校跡地の利活用について

- (1) 今後、学校の統廃合によりいくつの学校が廃校となるか。また、それらについて利活用の計画はあるか。

3. ふるさと寄附金について

- (1) 令和3年度予算額及び寄附実績を伺う。
- (2) 人気のある返礼品はどのようなものがあるか。

2. 2番 秋山 有美 さん (一問一答)

1. 配食ができる子ども食堂のシステムについて

私は現在、島田市島にあるひだまりカフェにて地域の子どもたちの居場所づくりや、子ども食堂に関わりを持ちながら、勉強のつもりでパートではあるが働いている。

働きながら感じるのは、楽しみに来てくれる子どももいて、常に開いている子ども食堂の意義を感じる反面、目的の1つである貧困家庭の子どもや孤食の子どもが来てくれているかは疑問なことである。

現実として、その家庭の子どもが足を運ぶことに抵抗があるのも理解できる。そこで、こちらから配食する子ども食堂のシステムを作り、本当にご飯が必要な家庭に届くようにしたいと思っている。

- (1) あらためて子ども食堂の活動目的や意義を伺う。
- (2) 現在の島田市内の子ども食堂の状況を伺う。
- (3) 現在、市が行っている子ども食堂への支援について伺う。

3. 3番 横山 美沙 さん (一問一答)

1. 女性の社会進出を支えるための保育サービスの在り方について

女性の社会進出のために、幼稚園・保育園は必要不可欠である。自分も、仕事やその他用事のために利用するが、利用制限のあることも多い。保護者が社会生活を安心して営んでいくためにはどうしたらいいか。

また、幼稚園・保育園に通っている兄弟がいると、子育て支援センターを利用できないため、夏休みなどに兄弟で子どもを遊びに連れていく場所がなく、行き場のない親子もいる。子どもや保護者を支える体制を考えてほしい。

- (1) 幼稚園や保育園などの利用基準を伺う。
- (2) 冠婚葬祭や一時的な理由で施設を利用することはできるか。また、その場合の具体的な要件を教えてください。
- (3) 子育て支援センターの役割は何か。また、利用対象者を伺う。

2. 島田市版ネウボラの支援の在り方について

母子健康手帳交付時に担当保健師を配置し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を実施する島田市版ネウボラについて、対象外となる場合も相談に対応してほしいし、必要な相談機関につないでほしい。

- (1) 島田市版ネウボラの対象となる子どもの年齢、また、対象外の子どもについても支援について伺う。

4. 4番 藤森ちひろ さん (一問一答)

1. 子育て世帯への家事支援の現状と今後の行政支援について

私は、島田市を中心に、子育て世代からシニア世代までの家事・育児支援の日常サポートする「家事代行サービスこあら」を運営している。子育て生活で助けを求める人に対し、様々な支援サービスの存在が十分届いていないのではないかと日々感じている。

また、サービス提供だけでなく、主婦というスキルを雇用につなげ、女性の働きたいを形にした雇用を促進したいと考えている。

そのような中で、2024年度に施行予定の児童福祉法改正案に家事支援の項目が含まれており、今後島田市として、どのように進めていくのか伺いたい。

- (1) 子育て家庭へのサポートとして、島田市ではどんな取組を行っているか伺う。
- (2) 2024年度の施行が見込まれている児童福祉法改正案に、家事支援事業が含まれている。今後島田市では家事支援事業をどのように進め、広めていくのか予定があれば伺いたい。

5. 5番 柴本 楓葵 さん (一問一答)

1. 伊久美地区の環境と安全について

祖父母から、伊久美川のコンクリート護岸にヒビがあったり、堰堤に土砂が堆積しており機能しないのではないか、との話を聞いた。

災害に対して、伊久美地区のように人口減少や高齢化が進んでおり、なおかつ、条件が不利な地域で災害が発生した場合の市民の安全が危惧される。

- (1) 島田市では、伊久美地区の災害発生の危険性がある箇所を把握しているのか。
- (2) 伊久美小学校が指定避難所になっているが、土砂崩れなどで指定避難所まで行くことができない場合は、どのようにすれば良いか。

2. 伊久美地区の地域振興について

伊久美地区では、人口減少や高齢化に伴う過疎化が進み、地域振興が機能していないのではないか危惧している。

- (1) 地域づくりの拠点である「やまゆり」が休止したことにより、地域振興の拠点はどのような状態になっているのか。
- (2) 島田市における地域振興の取組や生活支援についての事業はどのようなものがあるか伺う。